

大阪府寝屋川市 「地域連携サポートプラン」

提 案 書



平成30年3月

国土交通省  
近畿運輸局  
近畿運輸局大阪運輸支局

# 大阪府寝屋川市の概要、公共交通に関する主な取組

## 市の概要

### 概況

○寝屋川市は、大阪府の東北部、淀川左岸に位置し、東部は交野市、西部は淀川を境にして高槻市、摂津市に接し、南部は守口市と門真市、大東市、四條畷市、北部は枚方市に隣接し、北河内地域の中心部に位置している。

○大阪市内及び京都方面へは、鉄道では京阪本線、JR学研都市線で結ばれており幹線道路は市の中央を南北に外環状線（国道170号）、西部には国道1号線が縦断し、平成22年3月には第二京阪道路が開通するなど、交通の便にも恵まれている。

○人口は1996年の26万人をピークに減少している。近年は年間1,000人前後で減少しており、高齢化率は28.8%となっている。（H30.1現在）

○平成27年改正地方自治法に基づき、より市民ニーズを反映したきめ細かな行政サービスと特色あるまちづくりを大きく推進するため、平成31年4月の中核市移行に向けて取り組んでいる。



人口：236千人  
面積：24.7km<sup>2</sup>



寝屋川市  
マスコットキャラクター  
はちかづきちゃん（右）  
ねや丸くん（左）

## 公共交通に関する主な取組

### ◆基本方針・計画・体制

H23	寝屋川市都市計画マスタープラン改訂
H27	第五次寝屋川市総合計画後期基本計画策定
H27	寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
H28	寝屋川市地域公共交通協議会設置
H29	立地適正化計画策定（予定）
H30	地域公共交通網形成計画策定（予定）

### ◆取組

H10	無料シャトルバス運行開始
H13	外出援助サービス事業開始
H15	『タウンくる』寝屋川音羽町線運行開始 （京阪バス（株）自主運行路線）
H18	『タウンくる』黒原ルート、木田・河北ルート運行開始
H20	『タウンくる』木屋ルート運行開始
H24	買い物等外出促進事業開始

## 公共交通の現況

### ①鉄道・路線バス

- 鉄道は、京阪本線（萱島駅・寝屋川市駅・香里園駅）とJR学研都市線（東寝屋川駅）の2線が、市を南北に縦断する形で並行に運行している。
- 路線バス（運行事業者：京阪バス(株)）は市内をほぼ網羅しており、主として京阪寝屋川市駅から東西に運行している。東側はJR東寝屋川駅、交野市、四條畷市及び枚方市方面へ、西側は守口市及び門真市方面へ運行している。

### ②コミュニティバス『タウンくる』（乗合・事業用ナンバー）

- 交通空白地解消のため、主に西部地域及び中心部において京阪寝屋川市駅を中心に4ルート運行している（運行事業者は京阪バス(株)）。
- 市から年間合計約7000万円の補助を行っている。ただし、寝屋川音羽町線は京阪バスの自主運行路線となっている。
- 市民に利用してもらいやすいよう、運賃は一律大人150円、小児80円に設定している。

### ③買い物等外出促進事業等

- 上記の他、市内5自治会の運行による外出困難者対象の買い物等外出促進事業、社会福祉協議会の運行による介護を要する高齢者対象の外出援助サービス事業のほか、重度障害者対象の移動支援事業も行っている。
- 寝屋川市役所～寝屋川市立総合センター間で、施設間アクセスとして、民間業者（日本総合サービス(株)）への委託により、無料のシャトルバスを運行している。



#### <主な交通モード>

鉄道・・・京阪本線（3駅）、JR学研都市線（1駅）

民間バス路線・・・京阪バス：26系統

コミュニティバス・・・タウンくる：4ルート

（内1路線は京阪バス(株)自主運行路線）

## 課題

### ◎ 地域公共交通網形成計画策定に向けた目標、施策方針の検討

- ① 立地適正化計画と「まちづくり」の方向性と整合性がとれた地域公共交通ネットワークの再構築
- ② 高齢者向け移動支援事業等を含む役割分担の整理
- ③ 市内の公共交通の利用促進（もっと知ってもらおう・もっと乗ってもらおう）  
【モビリティマネジメント施策の展開】

# 課題①について（大阪府寝屋川市）

## 課題 ①

### 立地適正化計画と「まちづくり」の方向性と整合性がとれた地域公共交通ネットワークの再構築

- 平成29年度末に策定予定である立地適正化計画では、中心拠点として鉄道4駅（京阪：香里園駅、寝屋川市駅、萱島駅、JR：東寝屋川駅）周辺地区、生活拠点として緑町、仁和寺、寝屋川・三井団地周辺地区を都市機能誘導区域として設定することが計画されている。
- 中心拠点においては、駅周辺整備による医療・商業等の都市機能施設の誘導や道路整備等の計画が予定されている。
- 鉄道駅を中心とする都市拠点の圏域外である生活拠点は、今後新たな交通結節拠点の形成の可能性があるエリアとしても位置づけられている。
- 立地適正化計画に基づくまちづくりの方向性にあわせた交通ネットワーク再構築のほか、近隣自治体も含めた大阪府東部エリア全体での交通ネットワーク再構築も重要な課題である。

	区域名	誘導施設
中心拠点	香里園駅 周辺地区	・商業施設 ・宿泊施設 ・教育文化施設
	寝屋川市駅 周辺地区	・行政機能 ・医療施設 ・商業施設 ・子育て支援施設
	萱島駅 周辺地区	・商業施設
	東寝屋川駅 周辺地区	・医療施設 ・商業施設 ・生活サービス施設 ・教育文化施設
生活拠点	緑町 周辺地区	・商業施設 ・教育文化施設
	仁和寺 周辺地区	・商業施設
	寝屋川・ 三井団地 周辺地区	・医療施設 ・商業施設

# 課題①解決に関する提案（大阪府寝屋川市）

## 課題①への提案

### 地域公共交通網形成計画の策定

- 平成30年度に策定予定である網形成計画について、下記の点に留意し、策定を進めることが望ましい。
  - 「まちづくり」の観点から、平成30年4月に策定予定である立地適正化計画と整合を図る必要がある。特に、**都市計画道路の整備や都市構造の変化に応じたバス路線の見直し**により、市内の円滑なバス運行を確保することが重要である。具体的には、
    - 中心拠点の一つである東寝屋川駅周辺地区においては、現状において他の中心拠点との連携が弱いため、**今後検討される駅周辺整備や医療・教育文化施設の誘導に合わせ**、バス路線の見直しが必要である。
    - 萱島駅周辺地区においては、密集市街地が広がっているものの狭隘道路が多いことから交通ネットワークが脆弱であり、今後、**検討される道路整備等を視野に入れた交通ネットワークの再構築**が重要である。
  - 寝屋川市として、**目指すべき地域公共交通の将来像や事業者・住民をはじめとする各関係者の役割を明確**にすること。
  - 網形成計画は将来を見据えながら先5年の寝屋川市の公共交通網を描くものであることから、**交通事業者や地域住民と丁寧な協議を行う**必要がある。

### 広域的な交通ネットワークの連携

- 市内と複数の市外駅とを結ぶ広域的な路線が多く、**近隣自治体との連携は必須**である。近隣自治体と連携し、利用者利便向上に考慮した交通ネットワークを再構築することにより、双方自治体が抱える公共交通に関する課題の解決（同エリアにある交通空白地域解消等）や、新たな利用者の発掘（コミバスの他市乗り入れ等）につなげることが重要である。
- 既存施設と連携した**広域的な交通拠点整備を整備**し、大阪府東部全域における交流人口の増加、加えて寝屋川市の活性化につなげることも検討に値する。



(京阪バス株)

# 課題②について（大阪府寝屋川市）

## 課題②

### 高齢者向け移動支援事業等を含む各種移動手段の役割分担の整理

- コミュニティバス「タウンくる」は、市内の路線バスでは走行できない狭隘道路を走行し、市民の足を確保することを目的に運行しており、市内において路線バスとコミュニティバスの役割やエリア等の棲み分けは一定程度図られている。一方、市当局の「タウンくる」への補助額は増加傾向にあり、運行主体であるバス事業者による経費削減等にも限界があることから、今後のバス路線維持に向けて事業者と市が連携して採算性の向上を図る必要がある。
- 市内には自治会運行による買い物等外出促進事業等、高齢介護室をはじめとする福祉部局が所管・実施する交通サービスが提供されているが、交通部局の事業と一体的に市内の移動手段を確保するとの観点での運営がなされていない。

## 課題②への提案

### 路線バスとコミュニティバスの役割分担の整理

- 路線バスとコミュニティバス「タウンくる」の役割分担を再整理し、市として提供・支援すべきコミュニティバスのサービス水準を定め、路線の必要性と利用実態の見極め、利用者負担のあり方など様々な視点から採算性向上に向けて検討することが重要である。

### 高齢者向け移動支援事業等の役割分担の整理

- 高齢者向け移動支援事業等も交通モードの一つであることから、地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、福祉部局との連携・協働により、各事業の役割や目的を再度明確にした上で複数ある事業の役割を整理し、限られた市の行政リソースを有効的に活用することが重要である。
- 移動支援事業等の役割整理を進める際には、バスやタクシー等の交通事業者も交えた議論を進めることで、地域ごとに抱える課題に対応した適切な交通モードの提供が可能になると考えられる。

※平成29年6月発表の「高齢者の移動手段に関する検討会 中間とりまとめ」を踏まえることが望ましい。

上記を踏まえ、相互に補完し合う交通サービスの最適な組み合わせを目指すことが、持続可能な地域公共交通網構築に繋がると考えられる。

## 課題 ③

# 市内の公共交通の利用促進（もっと知ってもらおう・もっと乗ってもらおう）

## 【モビリティマネジメント施策の展開】

- 全ての鉄道駅（京阪香里園・京阪寝屋川市・京阪萱島・JR東寝屋川）で乗客数が減少傾向にあるほか、市内を走行するバスの乗降客数も減少傾向にあり、街の活気低下が懸念される。
- 交流人口の拡大は街の活性化に結びつくことから、寝屋川市においても交通事業者と連携し、公共交通の利用促進を図ることは非常に重要である。
- 京阪バス(株)では「バス接近情報」やバス車内における「電車乗換案内表示」※1などのバスロケーションシステムに加え、全国初のサービスとして、駅ターミナル等の主要な停留所に停車している路線バスのLED行先表示器に発車時刻を表示するなど、先進的かつ、バス利用者にとって利便性に優れたシステムを多々導入している。しかし、事業者単独での周知には限界があり、当該システムを知らない・使い方がわからないという意見が見受けられる。

※1 電車乗換案内表示は関西初のシステム

- バスを利用するためには、京阪バス(株)が提供しているホームページ及び乗換検索サイトから「乗りたいバス」の情報を入手する以外の方法がない。



▲関西初 電車乗換え案内表示



▲全国初 路線バスのLED表示器に発車時刻の表示

## 課題③への提案

### 公共交通をもっと知ってもらおう

- 交通事業者が導入している先進的な情報発信システムやICカードによる「IC1dayチケット」「登録型割引」などの様々な運賃施策を、市民や寝屋川市来訪者へ**事業者と連携して周知すること**により、公共交通利用に関する「わからない」「知らない」を解消し、公共交通の利用者増に繋げることができる。
- 身近なバス路線に関する情報を手軽に入手できるツールとして、地図に情報をおとしこんだ**公共交通マップの作成および配布**が望ましい。  
作成に関しては、NPOや自治会など**地域活動団体との連携も有効**である。

#### 【他自治体の地域活動団体による公共交通マップ例】

- ・ ぶくいのりのりマップ……誰でも利用可のコミバス・乗合タクシーも表示  
公共施設やパークアンドライド駐車場をマークで表示  
(NPO法人ぶくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)：福井市など)



乗りたいバスがいつ到着するのかわかることによる安心感

(京阪バス(株))

### 公共交通にもっと乗ってもらおう

- 市民や利用者がバス路線の維持・活性化について自ら考える機会を設けるなど、「**マイレール・マイバス**」意識の醸成を図ることが重要である。  
例えば、まちづくり・地域活動の一環として、高校・大学や各自治会と協働し、学生や市民と一緒に公共交通活性化を考えるセミナーやシンポジウムの開催なども考えられる。
- 鉄道事業者やバス事業者と連携し、幅広い世代を対象とする「**鉄道・バスの乗り方教室**」を**はじめとする体験イベント型施策の実施も**重要である。特に隣接する枚方市の「ひらかた環境ネットワーク会議」による「バス!のってスタンプラリー」などの取組は参考となる。

### 外出機会の創出

- **沿線施設と連携したパークアンドライド駐車場の整備**や、各地域の商業施設とタイアップした企画や乗車券の造成・販売等、**市民の外出機会の創出のための取組み**はまちづくりの観点からも有効である。



▲バスの乗り方教室



# 協定締結から提案に至るまでの間の成果（大阪府寝屋川市）

平成29年 7月21日

地域連携サポートプラン協定締結

平成29年 7月27日

平成29年度第3回寝屋川市地域公共交通協議会（住民アンケートの方向性）

平成29年 9月 1日

平成29年度第4回寝屋川市地域公共交通協議会（寝屋川市の現状、立地適正化計画）

平成29年 9月 7日

京阪バスと意見交換・コミュニティバス現地調査

平成29年 9月19日

寝屋川市と意見交換

平成29年10月16日

寝屋川市・京阪バスと意見交換

平成29年11月14日

近畿運輸局で開催された「地域公共交通研修」において、寝屋川市・京阪バスによる「交通事業者と行政が考える公共交通」について取り組み事例の講義を実施。

平成29年12月21日

平成29年度第5回寝屋川市地域公共交通協議会（住民アンケート結果報告、地域公共交通網形成計画の方向性）

平成29年 2月15日

地域連携サポートプラン課題研究会

平成30年 3月22日

平成29年度第6回寝屋川市地域公共交通協議会（地域公共交通網形成計画の骨子案）

平成30年 4月（予定）

寝屋川市立地適正化計画策定

平成31年 3月（予定）

寝屋川市地域公共交通網形成計画策定



▲サポートプラン協定締結式



▲サポートプラン課題研究会